



## 課題から課題へ！夏休みの自由研究！

部長 松本安博

生垣から聞こえてくる虫の声に、秋の訪れを感じます。ご家庭では、秋の衣がえで制服の出し入れをしていただいていることと思います。とは申しましても、まだまだ夏日の日もあるようです。初等部におきましても、体調管理には、十分留意していきたいと思っています。

このひと月、各教室の廊下や教室には、子どもたちが夏休みに取り組んだ「自由研究」の作品が掲示・展示されていました。先日の土曜授業参観では、授業に加えてそれらの作品をご覧になった保護者のみなさんから、たくさんの称賛の声が寄せられました。また、学校紹介や見学に来られた外部のみなさんからも、字の丁寧さや資料の使い方、分かりやすい説明に対して、お褒めの言葉をいただきました。

私も廊下を歩きながら、何度か作品を見て歩きました。読むほどに、見るほどに、どの作品も時間をかけてじっくり取り組んだことが窺え、その努力に感心させられました。特に心に残ったことは、まずはじめに調べようと思った「きっかけ」や「動機」、「理由」がしっかり記述されていることでした。

初等部には、これからも授業研究を通して検討を重ねていかねばなりません。全体化を図っていききたい学力観があります。それは、次の10からなるものです。

- ① 知識
- ② 技能
- ③ 思考力・判断力・表現力
- ④ 課題（問題）解決力
- ⑤ 課題（問題）設定力
- ⑥ コミュニケーション力
- ⑦ 情報処理活用能力
- ⑧ 健康・体力
- ⑨ 学習スキル・マナー
- ⑩ 関心・意欲・態度・心構え

私は、高次の学力ととらえられている④「課題（問題）解決力」や⑤「課題（問題）設定力」が、1年生から6年生へと少しずつ、そして確実に育まれていることを感じ、とてもうれしく思いました。何故ならこれらの力は、「自己教育力」の基と考えられるからです。

「感謝」と「奉仕」の心をもって、時には人の手を借り、時には人に手を貸し、生涯において自らが自らの手で、よりよい自分づくりを実現していくための「自己教育力」は、教育の究極的目標の一つとも言えます。

子どもたちの「自由研究」の「きっかけ」や「動機」、「理由」は、大別しますと日頃の学習や生活の中で気になっていたことであったり、この夏に出かけたところで不思議に思ったことであったり、最近読んだ本や聞いたニュースで疑問に思ったことであったり、自らの興味・関心をさらに掘り下げたことであったりと、多岐にわたっていました。また、内容としては、動物や植物、地球や宇宙、気象など理科に関するものや歴史や地理、交通、政治など社会に関するもの、食育や健康、スポーツなど家庭科や体育科に関するもの、文化や芸術に関するものなどがありました。

これからも子どもたち自身が、課題（問題）を見出し、課題（問題）から課題（問題）へと自主自発的かつ創造的・発展的に学んでいく姿を導き出していきたいと考えています。

